

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 30 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費〔自立支援日常生活用具給付事業〕									
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号	4			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	高齢介護		課		高齢福祉		係	課長名	伊野宮 崇		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2		
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)	51		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 介護認定申請の結果、要介護・要支援に該当しないと認定された在宅高齢者のうち、運動機能の低下が認められた者。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内65歳以上の高齢者数(平成31年4月1日現在)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 自立した日常生活が容易に送れる状態				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 用具の給付を受けた者の数						
	③ そのために何をしましたか。 在宅の高齢者に対し、自立を支援するための日常生活用具(入浴補助用具・歩行支援用具など)を現物給付する。 申請希望があった際には、高齢者ほっと支援センターの相談員が状況確認を行い、市が給付の可否を決定する。 所得に応じて1割もしくは2割・3割の利用者負担あり。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 用具の給付を受けた者の数						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	22,350	22,711	22,902					
	成果指標	②の数値	人	0	1	0					
	目 標	②の目標値				1	0	0			
目標値設定の考え方 介護保険非該当の生活機能の低下した高齢者の自立の支援を図るため、前年度実績を目標に設定した。											
3 経費	事業費(実績)		円	0	17,280	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円		15,552						
		特定財源	円		1,728						
		(うち受益者負担)	円		1,728						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.0	0.005	0.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	0	41,220	0					
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0						
事業費+人件費		円	0	58,500	0						
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成2 年度										
	(2) 環境の変化 平成2年に事業開始。自立を支援するための日常生活用具を給付し、当該高齢者の日常生活を容易にすることを目的に開始。介護保険制度開始に伴い、利用者数は減少しており、平成30年に利用実績があったものの、利用はほとんどない。										

事業名称	高齢者日常生活支援事業費〔自立支援日常生活用具給付事業〕				
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名 伊野宮 崇

5
市民等の意見

この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

特になし

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☐ 取り組んだ

☒ 取り組まない

取組手法：

【取組手法の種類】

①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成

⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

7
課題

(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）

未記入

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。

市報等で市民へ情報提供した

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

引き続き市民へ情報提供する。

8

施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： 高齢者保健福祉の推進

☐ なっている

☒ 環境の変化等により成果が減少している

☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止

【取組内容】

現状の実績を分析する。

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

給付内容の再検討